

# さとう健一郎



秋田県議会第68代副議長として、重責を果たすべく充実した日々を過ごしております。



◎総理官邸にて

9月16日に内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会が開催されて、安倍晋三総理大臣は冒頭の挨拶で「この度、新たに地方創生大臣を創設すると共に、司令塔として、まち・ひと・しごと創生本部を立ち上げました」と表明され、その後の意見交換に於いても「地方創生」を強く訴えられました。私は前から3列目の左端です。



◎第127回北海道・東北六県議会議長会議

上記の会議が8月28日に青森市で開催され、共有する課題を取り上げて一致協力して課題解決に当たる事を決議しました。特に秋田県からの提言として、「東日本大震災の復旧・復興予算を平成28年以降も制度の継続と柔軟な運用」を強く求めました。私は前から2列目の左から2番目です。



◎台湾スキー協会と秋田県スキー連盟の協力協定調印式

8月19日、台北市内で秋田県スキー連盟と台湾スキー協会との友好協定調印式が行われました。スキーを通じた台湾と秋田の交流促進と観光客の誘致に繋がるはず。

鳥海山とそれに連なる圏域の発展こそ私の願い。  
県議会議員六期二十四年目を日々全力で活動し続けています。

- ◎ 鳥海ダムの早期着手
- ◎ 鳥海ダムに水力発電機能を付設
- ◎ 日本海沿岸東北自動車道の事業継続と圏域・県道の更なる改良促進
- ◎ 農業振興施策の充実と下水道など生活環境整備事業の促進
- ◎ 商工業を支援する施策の更なる充実強化
- ◎ 少子高齢化社会に対応できる福祉施設の充実
- ◎ 情報化社会に対応する環境をレベルアップ
- ◎ 官公事業の県内業者への優先的発注と地元産品の優先使用
- ◎ 鳥海山麓地域は、次代の可能性に満ちたクリーンな産業の適地

# リンク

2014.10 No.25

ごあいさつ

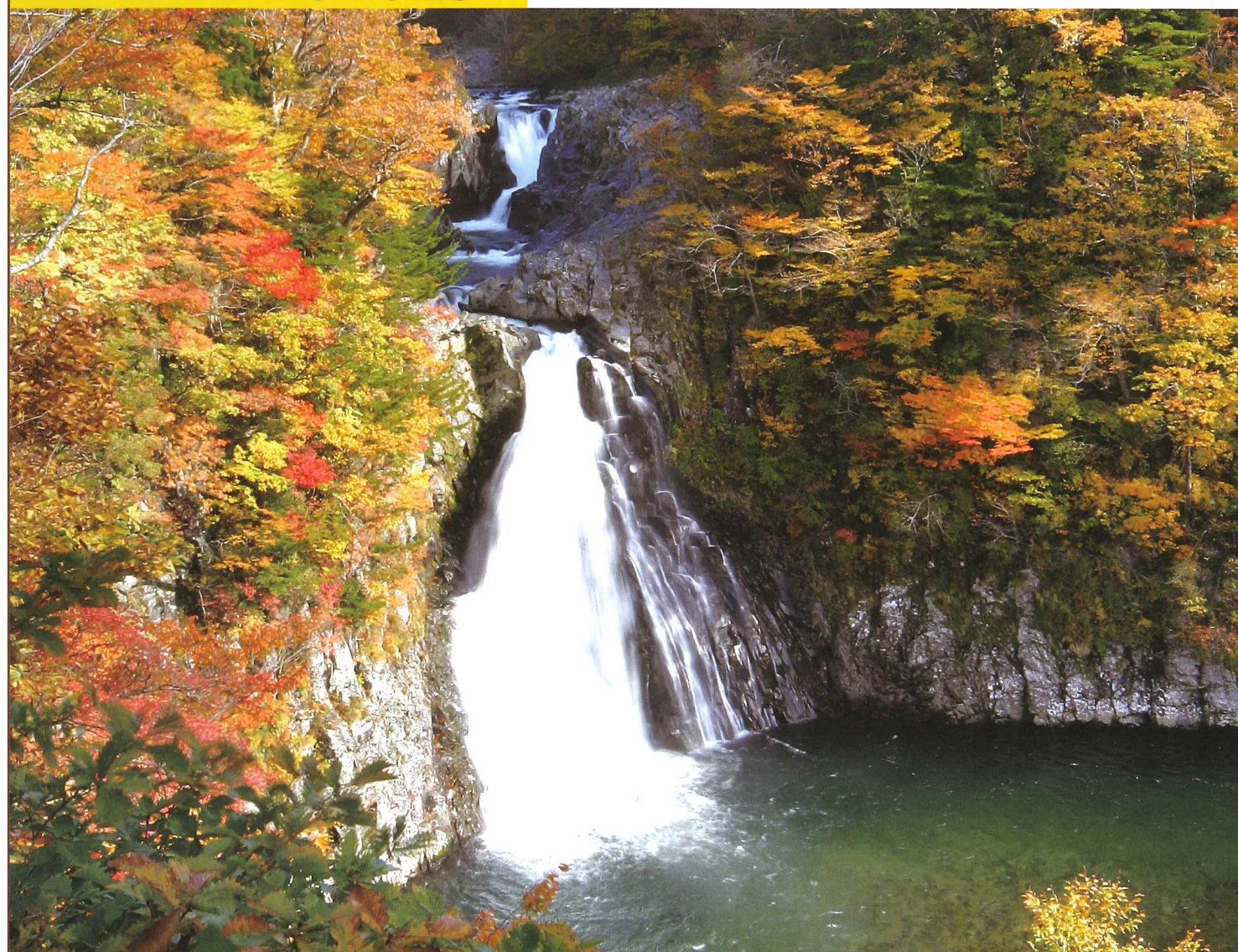
自由民主党会派 会長 鈴木洋一

地方の元気を取り戻し、活力ある秋田の復活へ。

私たち自民党は、多くの国民県民の皆様の負託を受けて、国政での政権奪還を果たし、そして衆参両院の「ねじれ」を解消し、アベノミクスの「三本の矢」によって、日本経済の長期停滞やデフレで失われた自信を取り戻してまいりました。この流れを全国に波及させ地方の元気を取り戻し、夢と希望が持てる魅力あふれる地方を創生するため、地方創生担当大臣を新設するとともに、自民党内には地方創生本部を設置し、国・地方一体の取り組みを始動させました。

本県の少子化対策や超高齢化対策、地域特性を活かした産業振興と雇用創出は、待ったなしの課題となっています。私たち県議会自民党会派は、活力ある秋田の復活を目指し、県民の皆様との意見交換や対話集會をおし、地域のニーズをとらえ、アイデアを取り込んで、本県の活性化に向けた積極的な施策展開の議論を交わしてまいります。

私たち自民党は、来春の統一地方選挙を「日本を取り戻す最終決戦」と位置づけ、頑張った人が報われる、「誇りある日本」を取り戻すために、国民県民の皆様とともに頑張ってまいります。



秋田県議会議員 副議長 佐藤 健一郎

平素のご厚誼を篤く感謝と御礼を申し上げます。

私達の由利本荘市にとって最大の課題でありました洪水防止と水道用水と農業用水の安定確保の為に計画された鳥海ダムの建設継続が今年の8月に決定し、更に今年の8月5日には平成27年度に事業着手すると国土交通省から公式に発表されました。

表紙を飾っております日本の滝・100選にも選ばれております「法体の滝」は、ダム建設後も水没せず日本100名山である鳥海山ろくの魅力の一つとして存在し続けます。今後は「治水と利水」を目的に計画された鳥海ダムではありますが、今日の社会的要請であります再生可能エネルギーの活用が求められており、最も基本的で尚且つ安定的な水力発電所を付加する事の実現にも取り組んで参ります。

これまででも、そしてこれからもより良い地域づくりに全力で活動し続けて参ります。

## 自由民主党 由利本荘市第二支部

〒015-0404 由利本荘市矢島町七日町字熊之堂4

電話 0184-27-5511 ファクス 0184-55-2324

http://ken-sato.sakura.ne.jp/ E-メール ken-sato@chokai.ne.jp

自由民主党会派と県民をつなぐ

### Link リンク

発行/平成26年10月10日  
ご質問、ご意見をお聞かせください。

編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会  
〒010-8570 秋田山王4丁目1番1号【県議会内】  
電話 018-860-2040 ファクス 860-2102

# 秋田をより強健に!

—安全で活気ある地域へ—

今回の補正予算は、防災・減災対策としての県単独公共事業のほか、米価下落への対応として農業経営の維持・安定を図るための事業、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業として「『宴のはじめは秋田の酒で』応援事業」や「あきたスカイドーム再整備事業」、経済・雇用対策として緊急雇用創出等臨時対策基金を活用した事業などに予算を計上しました。



平成26年度9月補正予算の概要

## 補正予算総額

# 36億999万円

[補正後 予算総額 6,132億円]

## 第2期ふるさと秋田元気創造プランに基づく事業

## 防災・減災対策

災害を未然に防止するため、道路の維持補修や河道掘削・護岸整備等に要する経費を計上しています。

### ●道路17箇所 ..... 2億500万円

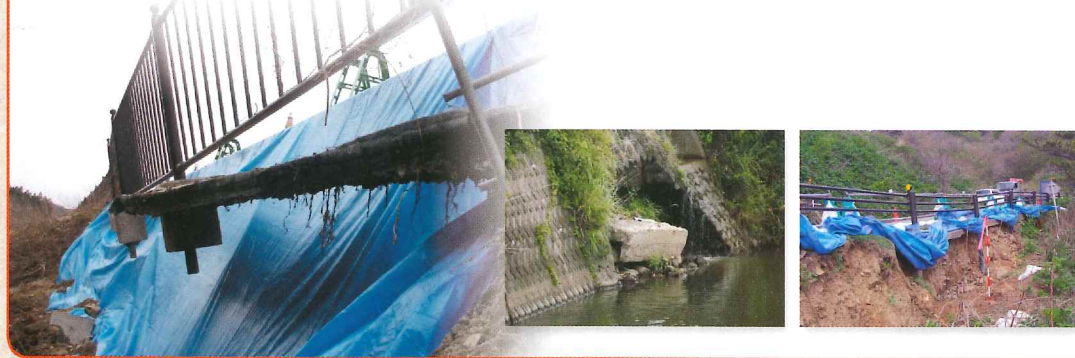
被災した法面等道路施設の早急な復旧や、側溝整備、防護柵補修など緊急性の高い箇所の補修等を行います。

- 県単道路補修事業 ..... 1億8,300万円  
ニツ井森吉線能代市麻生工区などの法面崩壊対策として、擁壁の補強工事等を行います。
- 県単道路改築事業 ..... 2,200万円  
大曲大森羽後線横手市矢神工区などの路肩拡幅工事等を行います。

### ●河川34箇所 ..... 5億4,500万円

6月及び7月の降雨で変状のあった箇所の補修などを行います。

- 県単河川改良事業 ..... 4億8,900万円  
衣川(由利本荘市)の護岸工事等を行います。
- 県単河川等環境維持修繕事業 ..... 5,600万円  
太平川(秋田市)の河道掘削等を行います。



### ●「宴のはじめは秋田の酒で」応援事業 ..... 300万円

酒類製造業者や飲食店、宿泊施設等と連携して、県産酒での乾杯をPRするポスターの掲示や「秋田の酒で乾杯フェア」の開催などを実施します。



### ●スポーツ王国創成事業 ..... 354万円

スポーツ指導者の資質とジュニア選手の競技力の向上を図るため、前秋田ノーザンハピネッツヘッドコーチの中村和雄氏をゼネラルアドバイザーとして県体育協会に配置し、高等学校強化拠点校の巡回指導等を実施します。



### ●あきたスカイドーム再整備事業 ..... 1,174万円

利用者の運動環境の安全性・快適性の向上を図るため、グラウンドの人工芝化や照明のLED化等を行います。



### ●有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業 ..... 9,363万円

スプリンクラーや火災通報装置の整備を行う有床診療所等に対して整備費の助成をします。

### ●あきた未来づくり交付金事業(羽後町分) ..... 200万円

羽後町が行う「食と交流の推進による『うごブランド』発信プロジェクト」に対して、あきた未来づくり交付金を交付します。

## 経済・雇用対策

### ●公共事業 ..... 18億415万円

(防災・減災対策とあきたスカイドーム再整備事業の再掲分7億6,174万円を含む)

- 国庫補助事業 ..... 5億1,700万円  
造林補助事業として間伐等への助成や八郎湯干拓基幹施設維持管理事業として排水ポンプの修繕を行います。
- 県単独事業 ..... 9億2,774万円  
防災・減災対策やあきたスカイドーム再整備事業のほか、労務単価の上昇等に対応するため、維持管理業務委託の増変更を行います。
- 過年発生土木災害復旧事業 ..... 3億5,940万円  
平成25年に被災した土木施設57箇所の復旧工事について労務単価の上昇等に対応するため、増変更を行います。

### ●緊急雇用創出等臨時対策基金事業 ..... 2,727万円

雇用創出事業等を行う市町村に対して助成します。(雇用人数 43人)

## 米価下落への対応

### ●稲作経営安定緊急対策資金預託金貸付事業

## 13億3,333万円

平成26年産米の概算金の大幅な下落による減収が見込まれる農業者等に対し、無利子で融資を行います。

### ●農業経営緊急フォローアップ事業 ..... 427万円

今後の営農に向けて、農業者等へのフォローアップを行うため、全県説明会を開催するほか、各市町村の地域農業再生協議会の取組に対し助成します。



## 国内最大の文化の祭典で 秋田の文化の素晴らしさを 体感しましょう!



第29回 国民文化祭・あきた2014  
平成26年10月4日(土)~11月3日(月・祝)

### 国民文化祭とは

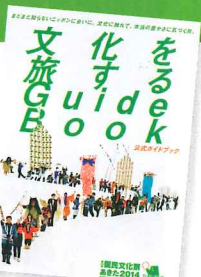
全国各地で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が、日頃の成果や実力を披露し、交流する「国内最大の文化の祭典」です。昭和61年から毎年開催され、秋田では初めての開催となります。

伝統芸能、音楽、舞踊・舞踏、文芸、美術、アートプロジェクトなど県内全25市町村で、県・市町村主催の76事業、県民の皆様が企画・実施する県民参加事業34事業を合わせ、110にのぼる事業を展開します。



### 公式ガイドブック

「文化を旅する Guide Book」には、各開催事業の紹介のほか、文化施設の特別展、会期中の食イベントやスタンプラリーの情報も盛り込まれています。県内の道の駅、新幹線停車駅、空港等に備え付けてありますので、ご覧ください。



「文化を旅する」は国民文化祭の開催事業のみならず食や酒、自然や歴史など本県の多彩な魅力を堪能していただきたいというメッセージです。

### 文化を旅するスタンプラリー

県内の特産品やオフィシャルスポンサーの提供賞品が抽選で当たるスタンプラリーを実施します。国民文化祭のイベント会場でもらえるスタンプを2つ集めると県内の特産品が当たる抽選に、3つ集めるとオフィシャルスポンサー提供賞品を加えた抽選に応募できます。ぜひご応募ください。



### 公式ウェブサイト

最新情報は公式ウェブサイトをご覧ください。

国民文化祭あきた  検索

<http://common.pref.akita.lg.jp/kokubunsai2014/>